

# 遊農人

ひゅうがが移住のすすめ

DS PLAY ZONE  
FOOD & DRINK  
KIDS WORK SHOP  
FREE WORK



農業で  
U1Jター  
ン!

仕事も  
遊びも  
ワクワク!



# 日向 × 農業

# × サーフィン



ONもOFFも思いのまま



Miyazaki

温暖な気候に恵まれた宮崎県日向市。サーフィン初心者からプロまでを唸らせる豊潤な波があふれ、中心部からビーチまでの距離の近さが魅力。仕事の前後に波に乗れる生活を求め、都心部からの移住者が増え続けている。そして、仕事もプライベートも自分の思うがままに時間設計を組み立てられる自由な生き方。そんな生き方を創ることができるのが「第一次産業=農業」ではないだろうか。

日向市のサーフィン情報は「ヒュー!日向」 <http://www.phew-hyuga.jp/>



日向市の主な観光地

馬場

クルスの海

美々津



## 新規就農者への支援制度を活用して 理想のライフスタイルを実現



COVER PHOTO 一表紙の人—

### 米澤 和博さん

Kazuhiro Yonezawa Profile

関西から日向市に移住して7年目。農業とサーフィンの時間を一日の中で自由にカスタマイズしながら家族とともに充実の日々を過ごしている。

初めはトレーニングセンターでの研修を利用してミニトマト農家の道へ



趣味のサーフィンで日本各地のビーチに赴きましたが、一年を通してコンスタントに波が安定しつつ広さと美しさが保たれている日向市に魅了されました。一方で会社員として勤める中、歳を重ねるごとに自分で何かを創る仕事をしたいと考えるようになりました。移住を本気で考えたとき、サーフィンと農業がリンクして道が開けたような思いでした。そして日向市に移住を決意し、現在は新規就農支援の制度を活用して先進農家で学びながら日常生活にサーフィンを取り入れ、理想のライフスタイルを過ごしています。まだまだこれからですが、子どもたちが笑顔になれるようなミニトマトを栽培していきたいと思っています。



photo@satoru\_photography

農業の未経験者でもみやさき農業実践塾、先進農家での研修、ミニトマト限定でトレーニングセンターでの研修が可能。これらの研修中はその後の就農を条件として、年間150万円(最長2年間)の助成金を受けられます。

詳しくは右ページ参照▶



# 充実サポートで 農業未経験者でも安心!

## 自営就農するまでのスケジュール例

教育・研修制度  
Study

みやざき農業実践塾  
(半年~1年間)

トレーニングセンター研修  
(1年間)

先進農家研修  
(2年間)

独立自営就農



助成・融資制度  
Assistance

新規就農者育成総合対策  
(就農準備資金)

年間150万円  
最長2年

新規就農者育成総合対策  
(経営開始資金/経営発展支援事業)

年間150万円  
最長3年  
+ 機械・施設等補助

## 新規就農者育成総合対策

### 就農準備資金

**【対象者】**

就農予定時の年齢が50歳未満の方

**【支援措置】**

年間150万円(最長2年)の助成

**【主な内容】**

概ね年1,200時間の研修と、研修終了後、親元就農する場合は就農後5年以内に経営を継承すること、独立・自営就農する場合は就農後5年以内に認定新規就農者または認定農業者の認定を受ける必要があります。

### 経営開始資金

**【対象者】**

経営開始時の年齢が50歳未満の認定新規就農者

**【支援措置】**

年間150万円(最長3年)の助成

**【主な内容】**

経営開始後5年後までに、就農計画に基づく、適切な農業経営を行う必要があります。

### 経営発展支援事業

**【対象者】**

経営開始時の年齢が50歳未満の認定新規就農者

**【支援措置】**

機械・施設等の導入に係る1,000万円(経営開始資金を併用する場合は500万円)までの融資に対し、最大3/4を助成

**【主な内容】**

当該年度に新たに経営を開始する必要があります。

次世代を担う農業者を目指す人材に就農前の研修を後押しする資金及び就農直後の経営確立を支援する資金を交付する国の事業です。

## 青年等就農資金

対象者

認定新規就農者

支援措置

無利子の融資(上限3,700万円)

主な内容

農業経営を開始するのに必要な施設・機械などの購入資金について、無利子の融資を受けることができます(保証料の負担は必要です)。

他にも  
農地の賃借料支援など  
様々な制度があります



Open!

支援事業で活躍する先進農家と新規就農者の生の声をご紹介します!



# 小さな変化を見逃さない 「気づきの目線」を大切に

Case 1  
フロイラー農場



### Message

やるべきことをしっかりと行うだけでなく、自分の意志をもって仕事に従事すれば、必ず将来が開けます。目的と目標をしっかりと定めて試行錯誤をしながら自分の技術を磨いて下さい。

農業技術が発展しているので、鶏舎の管理は湿度や室温、エサ、水などはプログラミングされたシステムを使用することから、飼育が厳しいといわれる夏季でも多くの羽数を確保できます。しかし、生き物ですから体調を崩したり、群れに勝てずにエサや水を飲めなかったり、床が汚れたりしますので、システムチックに仕事をするのではなく、小さな変化を見逃さない「気づきの目線」を大切にするように指導しています。特殊な事業ですから、分からないことを中途半端に放置せず、何でも先輩に教えてもらうこと、そして指導内容を的確に理解することを重点的に指導します。



### 先進農家

初木農場 (正建産業株式会社)

農場長

青木 裕一さん

Yuichi Aoki Profile

親戚のフロイラー農場でノウハウを学んだ後に就農して7年目。現在は、初木農場の農場長として若手の育成にあたる。



1. 初木農場の様子。大型の鶏舎が7棟連なる。室温や湿度はシステムで管理できても、消毒や清掃作業には多くの人員と時間が必要



### 新規就農者

勇 英寛さん

Hidehiro Isami Profile

20代から第一次産業の可能性を見出し、日向市内で飲食店を経営しながら研修を受ける。新規就農して1年目。

## 第一次産業の可能性は無限大

生活の根底を支えるのは第一次産業ですから、将来はその分野で生活の基盤を築きたいと考えておりフロイラーに着目していました。しかし、どのように土地を購入するのか？ 雛の契約は？ 鶏舎は？ と、全く右も左も分からない状態でした。そのような時に、周囲の人がたくさんの手を差し伸べて下さり、先進農家へつなげて頂きました。現在も青木さんをはじめ、学ばせていただいた先輩方に相談をしながら、自分の鶏舎で最も確かな方法を模索しています。第一次産業はやる気さえあれば無限大の可能性があり。色々な業種が集う場所にも参加して情報交換しながら、自分のフィールドを広げたいと思っています。





# お客様の喜びの声や笑顔が 自分への活力になる

Case 2  
いちご農場



## Message

農業の良い所は、自分で時間を自由に使えることです。自然相手ですから困難も多々ありますが、信念をもって続ければ必ず形になりますので、ぜひ農業にチャレンジしてほしいと思います。

農業を学んでいた学生時代からいちご栽培に興味をもっていました。着手した当時はいちご農家は他になく、ハウスでの栽培方法は自分流で確立しました。しかし、栽培できたとしても販路がなかったのが一番の悩みでした。自分の足で動き、地道に販路拡大することで、今では顧客も抱えられるようになり、平成27年からはハウスも増設して6種のいちごを栽培しながら観光農園を運営できるようになりました。それまでは必死にいちごと向き合い、出荷するだけでしたが、お客様に直接お会いすることで笑顔や喜びの声を直接伺うことができ自分への活力になっています。



## 先進農家

笹木野いちご園

## 橋口 昭太郎さん

Shotaro Hashiguchi Profile

大学で農業を学びUターン。実家の田畑を活かして平成14年にいちご栽培をスタートし、現在は観光農園に発展させ、県内外から多くの観光客が足を運んでいる。



1



2

1. 笹木野いちご園の風景

2. いちごの加工品は道の駅等へも出荷され販売されている



## 新規就農者

## 宮原 誠さん

Makoto Miyahara Profile

平成22年に脱サラし日向市へUターン。みやざき農業実践塾、橋口さんのハウスで研修後、平成28年に就農支援制度を活用して就農。

## これから農業を目指す方のモデル事業に

転職職でしたから全国各地を異動しながら当時は使命感をもって従事していましたが、ある時、「自分しかできない事、自分らしい人生」について考えるようになり、農業に転身しました。先輩方に補助制度や支援事業について教えて頂き、活用させていただいたおかげで就農への不安はありませんでした。これまでの総合職で培った知識をいかし、しっかりとした経営プランを立てて運営しています。また、社会貢献のひとつとして、福祉作業所の方々に掃除の仕事を依頼しています。まだ市内にはいちご農家が少ないので、今後農業を目指す方のモデル事業になれば嬉しいと思い、日々模索しています。





Case 3

ミニトマト農場



# ハウス栽培の可能性を 拡大するチャレンジを

## Message

農業はすべてにおいて自分次第。必死に試行錯誤すれば必ず結果がついてきます。ひとつの事に執着せず、広い視野を持ちながら品種や分野の枠を越えてチャレンジしてほしいです。

就農を目指した際に、日向市では販路が充実していたミニトマト栽培に取り組みました。すでに多くの先輩が従事されていたので相談しながらコツコツと進めました。予想以上の成果を出すことができ、自分に報酬として返ってくると励みになります。病気や自然災害に負けないように、また、粒が揃った美しいミニトマトになるように、工程のひとつひとつを丁寧にすることを心がけています。現在は60aの敷地で育てていますが、今後はハウス栽培の可能性を拡大させること、そしてリスク分散の為にシャインマスカットなどを育てる予定です。20年後はまた違う品目にチャレンジしているかもしれませんが、農業は発想によって様々な可能性を見いだせる事が一番のやりがいです。



## 先進農家

### 黒木 直人さん

Naoto Kurogi Profile

平成18年に会社を退職し平成22年に就農し、ミニトマト栽培だけでなく子ども教育にも取り組み、米作り体験を指導。平成30年からハウス栽培のポテンシャルを活かそうと他品目に挑戦。



1. 直人さんが運営するハウスの風景
2. 実が潰れないように丁寧に誘引(固定作業)を行う。ミニトマトは8月に苗付し、翌年6月頃までに収穫される。



## 新規就農者

### 黒木 靖男さん

Yasuo Kurogi Profile

会社員時代に兄の黒木直人氏を手伝いながら農業への可能性を見出し、10年勤めた企業を退職してUターン。約5年ほど農業を学び支援制度を活用して平成27年に就農。

## 困った時でも専門家が周りにいる安心感

現代の農業は自動システムでハウス内を管理しているので、古き良き時代の大変な作業をするイメージとは全く異なりました。しかし、人の手をかけてあげなければ人間と同じように弱ったり病気になったりします。経験が浅いので、病気を防ぐタイミングや防除の技術がまだまだ兄には敵いません。こればかりは経験しかないと思っています。困ったら兄以外でも専門家がたくさん周りしているので相談しながら技術を磨きたいと思っています。





# 人と違う農法に挑戦し 体が動く限り農業を 楽しみたい

Case 4

へべす農場



## Message

せっかく自分で創り上げる世界に携わるのだから、人と同じことをしていても面白みがありません。基本的な事を抑えつつ大小様々な工夫をして、農業を楽しんで下さい。

日向市の特産品であるへべす(平兵衛酢)は、皮が薄く果汁がたっぷりとれる柑橘類です。8月頃から濃いグリーンでゴルフボールくらいの大きさが出荷され、10月頃より黄みがかかった淡いグリーンになり粒が大きく成長します。11月中旬には「ゴールデンへべす」と称され、二回りほど大きく成長したものが出荷されるので、私は「へべす七変化」と表現しています。へべすはまるやかな酸味が特徴ですが、ゴールデンになると酸味はそのまま甘みが増してくることから、熟成したものを好む方も多くいらっしゃいます。現在は、東京都心部の料理店をはじめ全国各地のお客様と直接取り引きさせて頂いています。

本来、へべすは露地で育てる柑橘類なので種が入りますが、私の場合は露地で育てつつも花の時期の受粉を極力管理するので、種が入らず果汁が豊富なへべすを育てる事ができます。人と同じ農法を行ってもおもしろくありません。小さなアイデアを膨らませながら身体が動く限り農業を楽しみたいと思っています。



## 先進農家

へべすの悠美園

## 黒木 公作さん

Kosaku Kurogi Profile

県内2号目の「ひなたGAP」認証農場。農業協同組合を定年退職後に農家に転身。長年培った技術を活かした高品質なへべすを栽培。へべす農家の第一人者として知られる。地域の後継者育成にも尽力する。

※ひなたGAPとは

2020年東京オリンピック・パラリンピックの食材として提供できると認定された宮崎県独自の制度。

農産物の安全や環境保全に関する取り組みなど、63項目の適合基準をクリアしなければならない厳しい認定制度である。



全国的に農業後継者は不足しており、この地域も然りです。私は後継者がいない農地を管理し、新たな就農者へ引き継げるようなサポート活動も行っています。日向市での支援事業や制度もありますから、安心して日向市に移住していただけるよう努力したいと考えています。

- 1.10月頃淡いグリーンに色づき始める
- 2.完熟したゴールデンへべす
- 3.露地栽培でありながら種がなく果汁たっぷりに育て上げる。皮の薄さも特徴の一つ
- 4.出荷作業中の黒木さん



# 農業でUIターン！ 就農までのステップ

## Step 1 「お試し」農業



「お試し」就農や、「JAひむか援農隊」に登録してアルバイトとして農作業を経験することができます。農業の経験がない方は、まずはお試しで経験してみることをお勧めします。

## Step 2 育てる作物を決めよう



研修先を決めるため、まずは栽培作物・栽培方法を決める必要があります。※作物によっては、研修先がない場合もあります。

## Step 3 農業を学ぼう



宮崎県立農業大学校が行う「みやざき農業実践塾」においても、農業を学ぶことができます。各自に割り当てられたハウスで半年から1年かけて、土づくりや病害虫防除、作物ごとの栽培方法などの実践研修を行っています。その他、大型農業機械の運転免許の受験や市場の流通研修、販売研修なども行っています。もっと技術を身につけたいという方は、「みやざき農業実践塾」卒業後に先進農家で雇用研修を受けることも可能です。また、ミニトマト限定になりますが、トレーニングセンターで研修を受けることも可能です。

## Step 4 独立に向けていざ準備！



農業を始めるには、まず農地を借りる(または買う)必要があります。栽培したい作物に適しているか、生活をしていくのに十分な面積があるかなどを考えて農地を決定する必要があります。また、作物や栽培方法によって、施設や設備の購入計画を立てる必要があります。

## Step 5 ビジョンを明確にしよう

収支計画、資金計画を立て、就農後のビジョンを明確にしましょう。計画がないと、就農後の経営が上手くいっているのかわかりません。



何事も計画が大事！

## Step 6 いよいよ農業スタート！



農地や栽培施設の準備が整ったらいよいよ就農開始です。地域の部会などに加入し、積極的に研修会や講習会に参加しましょう。

※各ステップの中で、市・JA・県などが相談を受け就農に向けた支援を行います

## 日向市の主な作物 収穫期カレンダー

作物名   反収目安	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
冬春ミニトマト(ハウス)	10t	[Red bar]									[Red bar]		
冬春きゅうり(ハウス)	10t	[Green bar]									[Green bar]		
大根(千切り用)	0.6t	[Yellow bar]										[Yellow bar]	
いちご	4t	[Red bar]									[Red bar]		
日向夏	3t		[Yellow bar]										
マンゴー	1.8t				[Red bar]								
へべす	2.5t					[Green bar]		[Green bar]					
温州みかん	3t								[Orange bar]			[Orange bar]	
スイートピー	2384本	[Red bar]									[Red bar]		
しいたけ	162kg	[Dark red bar]	[Dark red bar]	[Dark red bar]						[Dark red bar]	[Dark red bar]	[Dark red bar]	

